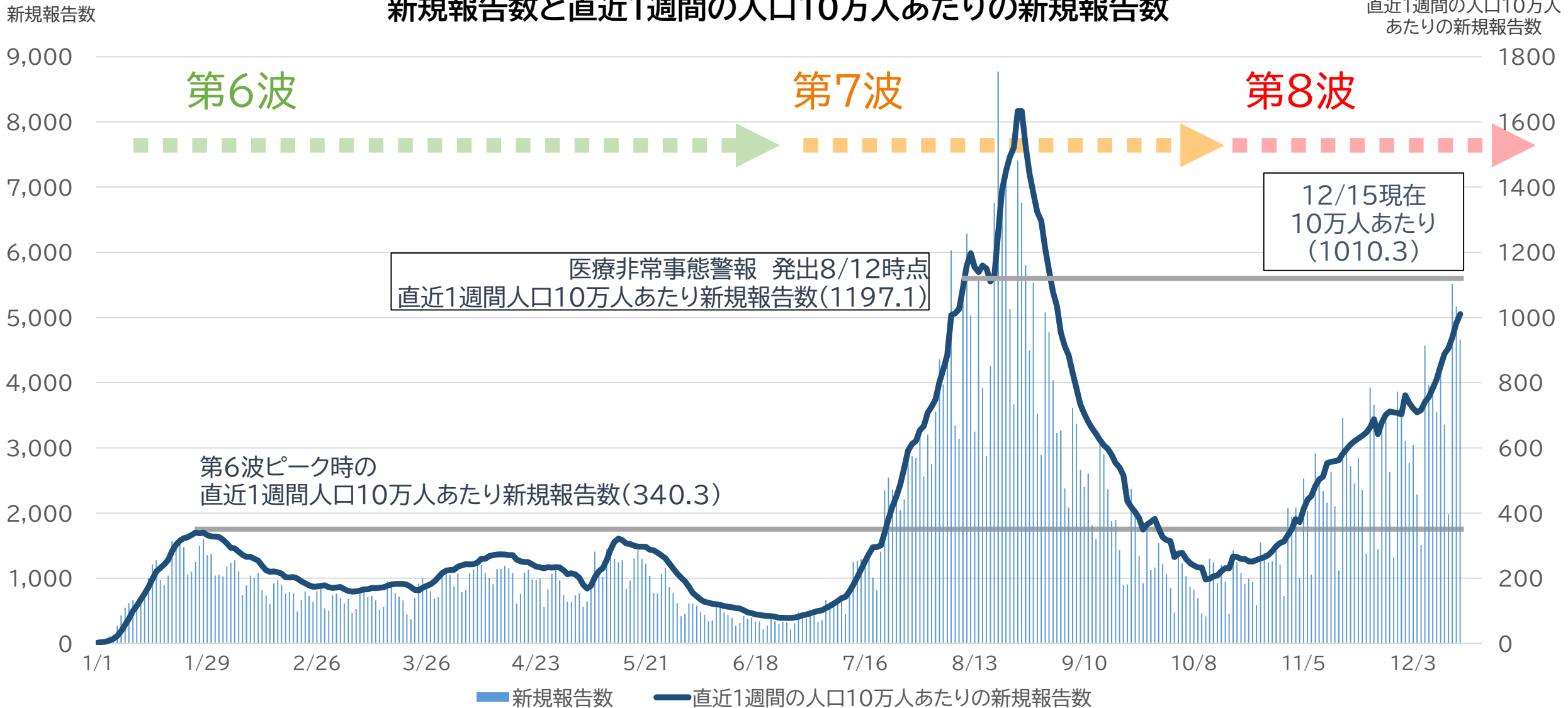


新型コロナウイルス 『医療非常事態警報』の 発出について

令和4年12月16日 広島県

本県の感染状況

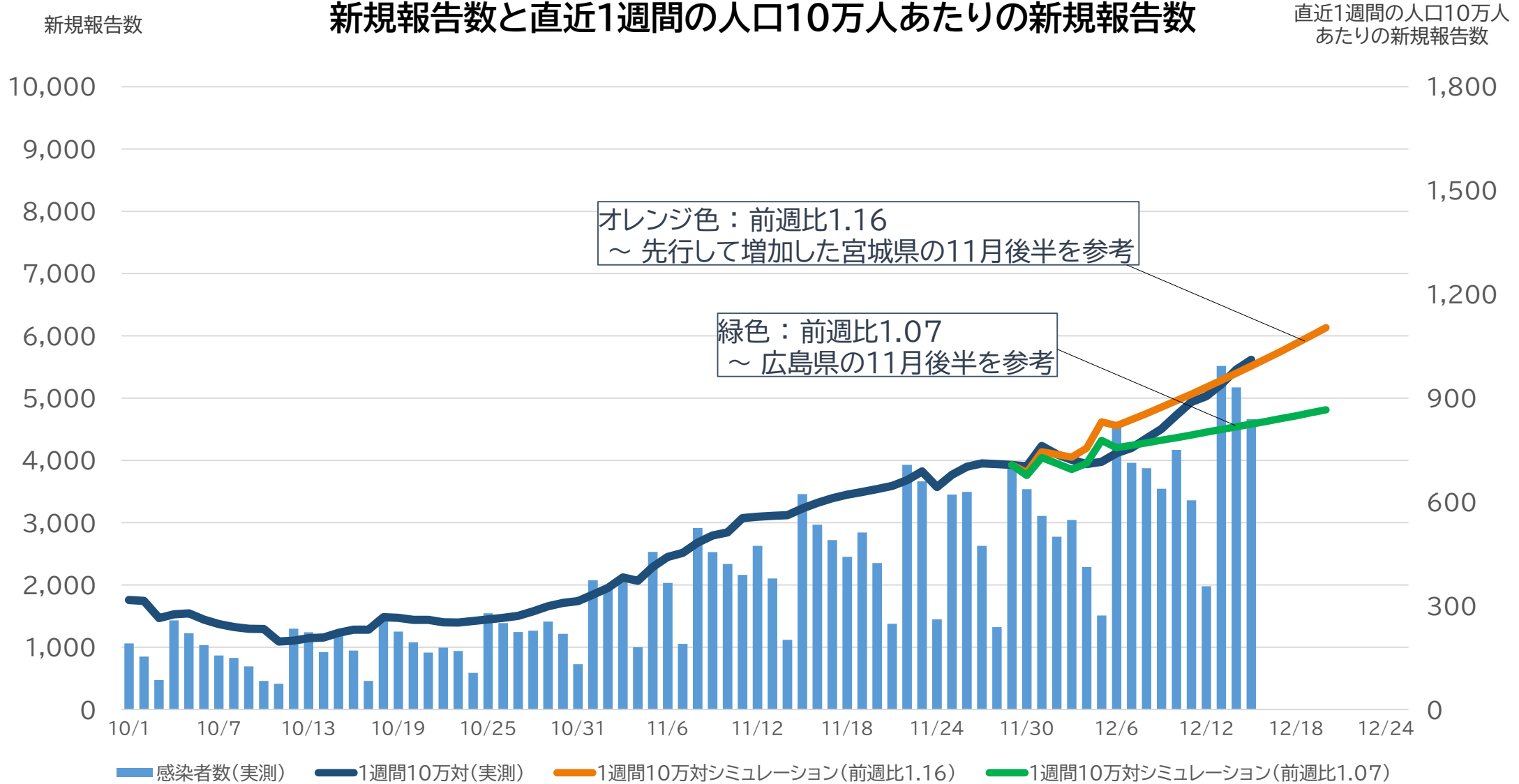
新規報告数と直近1週間の人口10万人あたりの新規報告数



現状は「レベル2」だが、直近の1週間で感染者が急増

11/30実施 シミュレーション(感染状況)

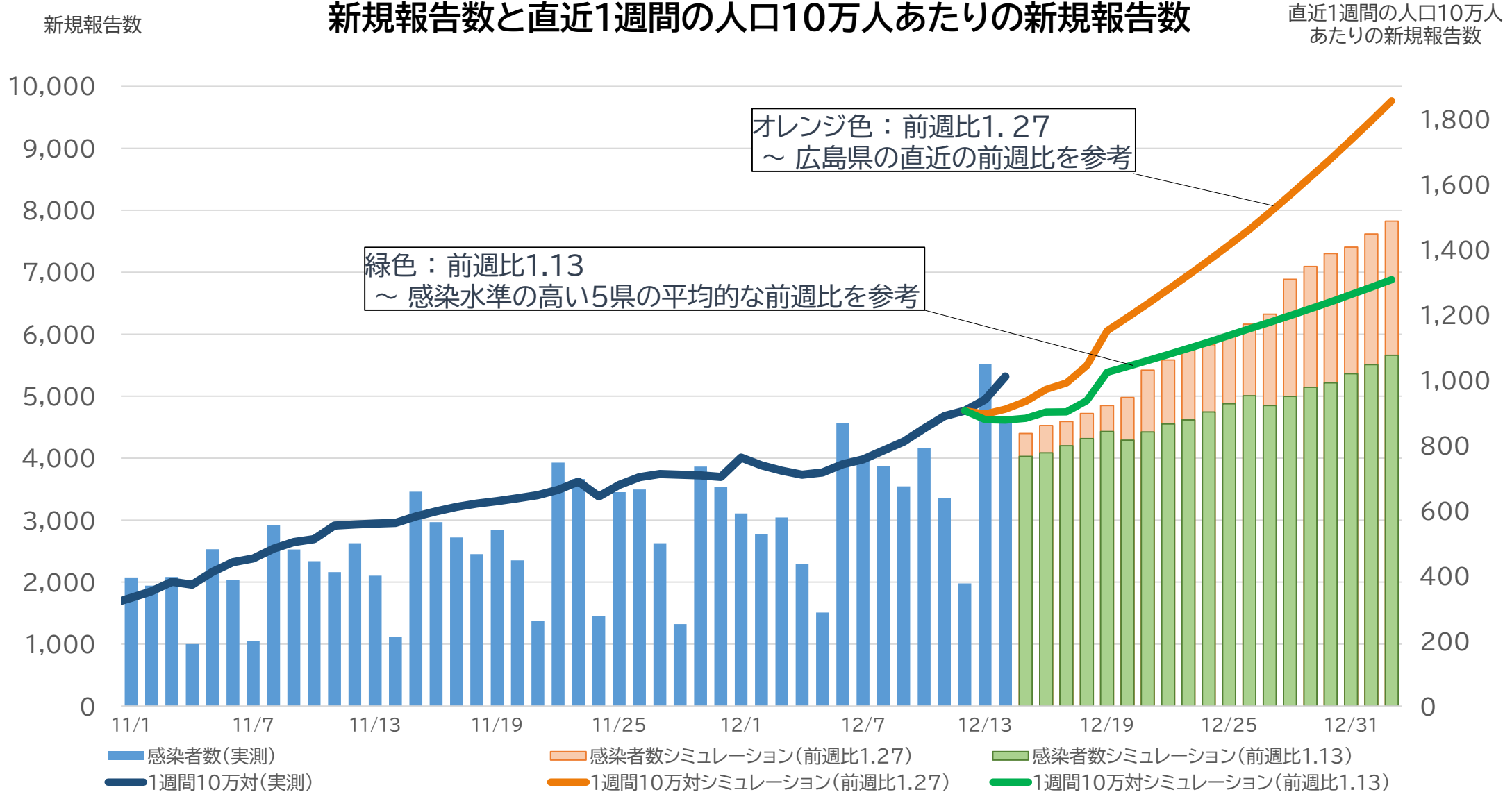
※シミュレーションは11/30実施



増加スピードが上昇しており、オレンジ色のラインを突き抜ける恐れ

12/13実施 再シミュレーション(感染状況)

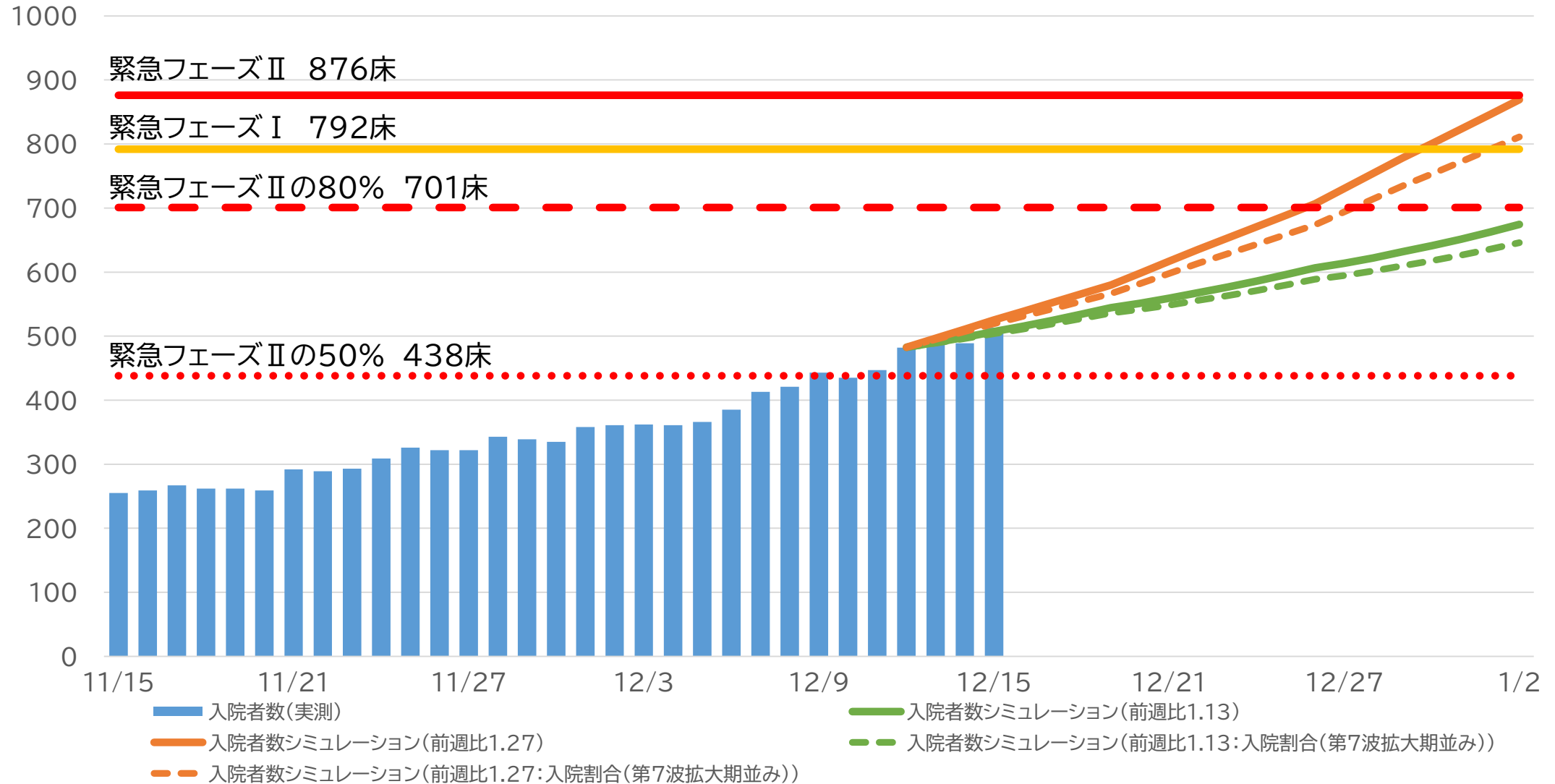
※シミュレーションは12/13実施



現状の増加スピードが続くと、12/30に第7波のピークを超える恐れ

入院患者数

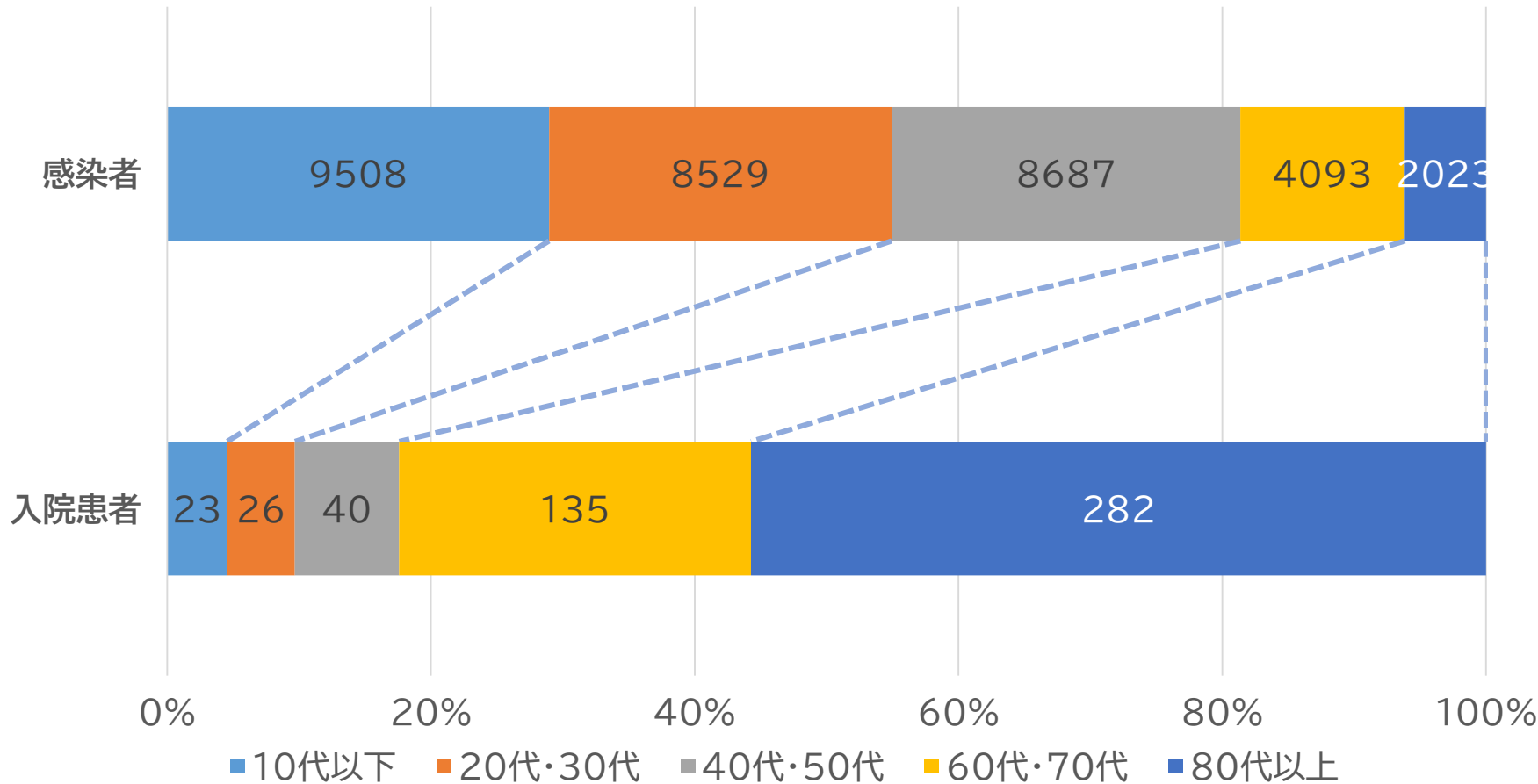
※確保病床数は12/9現在の数値



前週比1.27が続けば、年明けには緊急フェーズⅡの病床も満床になる恐れがある

入院患者の状況

感染者の年代構成と入院患者の年代構成(12/1~10公表事例)



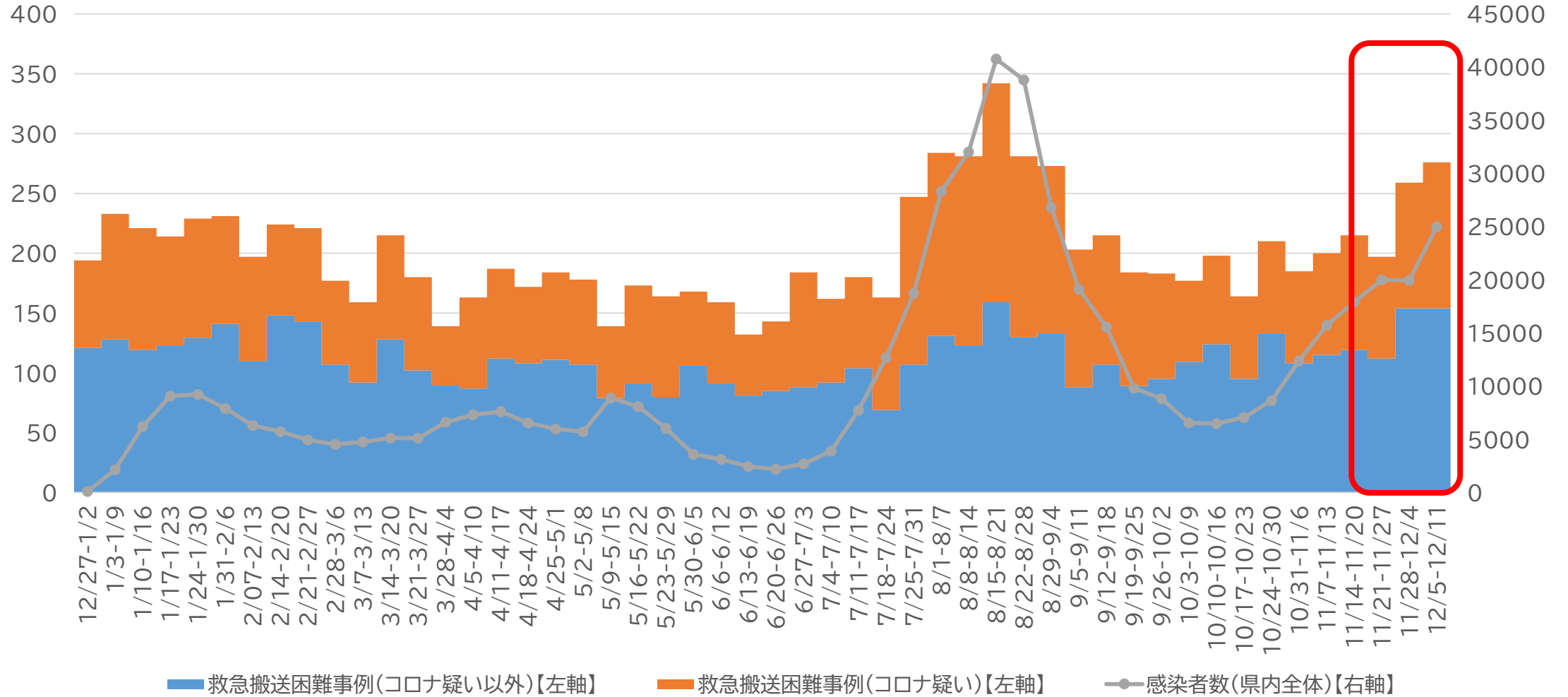
年代	入院割合
10代以下	0.2%
20代・30代	0.3%
40代・50代	0.5%
60代・70代	3.3%
80代以上	13.9%

※入院患者は、12/1~10公表事例において12/12までに入院した感染者を集計

高齢になるほど感染すると入院する方が多くなる

救急搬送困難事例の増加

感染者数と広島市消防の搬送困難事例数



救急搬送困難事例が急増しており、第7波最大に近づきつつある

県独自の『医療非常事態警報』を発出

- 感染拡大スピードが上昇
- 年明けには緊急フェーズⅡの確保病床が満床になるおそれ

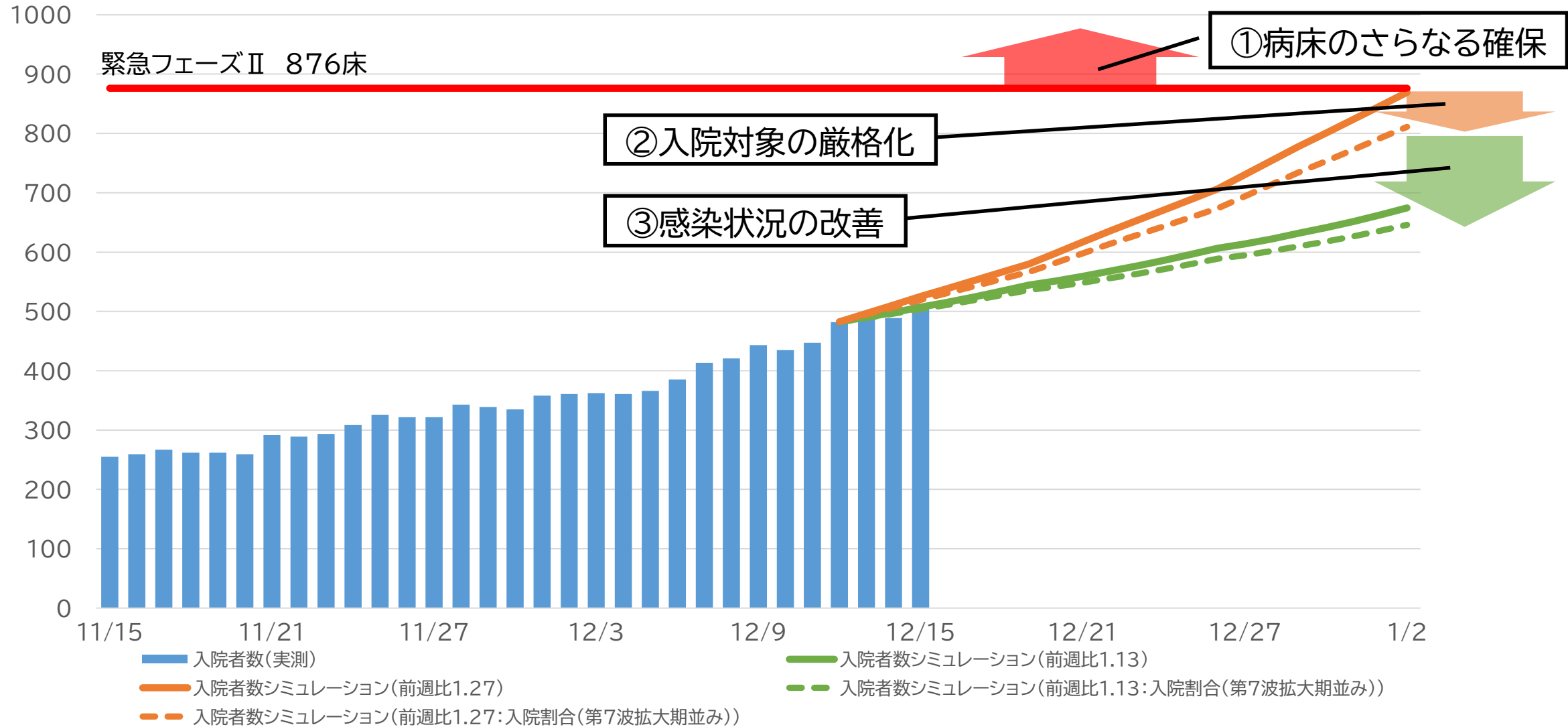
広島県独自の警報を発出

県民・事業者の皆様へ

- 感染拡大を防止するための感染対策の徹底
- 高齢者等重症化リスクの高い方を守る行動の実践
等と呼びかける

入院患者数

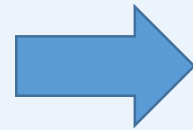
※確保病床数は12/9現在の数値



病床の確保

◆ 入院病床

緊急フェーズⅠ
(801床)



12/23~
緊急フェーズⅡ
(883床)

※82床の増床
(12/9以降の増床分を含む)

入院病床を最終フェーズの「緊急フェーズⅡ」に引き上げ

広島県の取組

年末年始を控え、更なる感染拡大にも対応

- ✓ 医師会，病院協会等と連携し，更なる病床の確保
- ✓ 入院対象の厳格化，病床の回転率向上により，入院治療の必要性がより高い患者が優先的に入院できる体制を強化

年末年始を控え、更なる感染拡大にも対応

- ✓ 高齢者施設等における医療提供・往診体制の充実
- ✓ 年末年始も次の取組等を維持・確保
 - 積極ガードダイヤル, 自宅療養者相談センター等の相談体制
 - PCRセンター, 陽性者登録センター等の検査・診断体制
 - 自宅療養セットの配送, オンライン診療センター等の自宅療養者への支援体制
- ✓ 年末年始の発熱外来(休日当番体制)の拡充

県民の皆様へのお願い

【ワクチン接種】

- オミクロン株対応ワクチンの早期接種

【日常生活】

- 基本的な感染対策の再徹底
（「三つの密」の回避, 手洗い等の手指衛生, 効果的な換気等）
- 混雑した場所や感染リスクの高い場所への外出など,
感染拡大に繋がる行動を控える
- 学校や部活動, 習い事・学習塾, 友人との集まりでの感染に
特に気をつける
- 普段と異なる症状がある場合には, 外出, 出勤, 登校・登園を
控えることを改めて徹底

県民の皆様へのお願い

【会食】

- 会食では、会話の際のマスクの着用

【重症化リスクの高い方を守る】

- 高齢者等重症化リスクの高い方を守る行動を実践
 - ・ 帰省等で高齢者等に会う場合は、事前に検査
 - ・ 高齢者等と会話する際は、マスク着用やこまめな換気など感染対策に特に注意

【救急搬送】

- 救急外来及び救急車の利用は、真に必要な場合に限ること
特に、発熱や咳のみなど軽症の場合は、救急車の利用は控える
(※ 判断に迷ったら、救急受診アプリ (「Q助」)の活用, 救急相談センター 広島広域都市圏「#7119」へ電話)

事業者の皆様へのお願い

【業種別ガイドライン】

- 業種別ガイドラインの遵守など、
実情に合った適切な感染防止対策を実施

【従業員の感染対策】

- テレワーク(在宅勤務), 休暇取得, 時差出勤等の更なる推進
- 人が集まる場所での感染対策の再徹底
(従業員への検査の勧奨, 適切な換気, 手指消毒設備の設置, 入場者の整理・誘導, 発熱者等の入場禁止, 入場者のマスクの着用等の周知)
- 飲食店において十分な換気や, 座席の間隔の確保又はパーティションの設置等の実施

事業者の皆様へのお願い

【重症化リスクの高い方を守る】

- 高齢者施設等においては、
 - ・ 従業員の頻回検査の実施
 - ・ 効果的な換気などの感染対策の徹底
 - ・ クラスタが起これることを前提に事前に準備
(医療支援体制, 業務継続体制の確保, 感染者の周囲への一斉検査等)
 - ・ 高齢者施設等を利用されている方は, 一時帰宅時などの節目での検査

県民の皆様へのお願い [重症化リスクの高い方に感染させない]

県独自の『医療非常事態警報』を発出

重症化リスクの高い高齢者や
基礎疾患を有する方に感染させないよう、
お一人おひとりの感染防止対策を
いま一度、徹底してください。